

弊社プレキャストコンクリート擁壁(MLウォール)をご使用される場合の留意事項について

前田製管株式会社 技術開発本部

お客様各位

弊社で製造販売しております、プレキャスト擁壁（商品名：MLウォール）は主に土留め用として、土木と建築でご利用いただいております。MLウォールは、種類ごとに使い方が異なっております。正しい設計条件と、正しい施工を行った上で本来の性能を保証するものです。

ご依頼によって、設計計算で安全性を確認することもできますので、ご不明の場合は、弊社営業担当までお問い合わせください。

設計条件には、土木か建築かの用途の違い、盛土の高さ、載荷重の大きさ、背面の土の内部摩擦角、必要地耐力など様々です。安全にお使いいただくために、下表を参考にして用途に合ったMLウォールを選定してください。



各種プレキャストコンクリート擁壁の設計条件

	商品名	区分	用途	地震時水平震度	設計載荷重 (kN/m ²)	土の内部摩擦角 (度)	盛土の高さ (m)
1	MLウォール1種	土木用	主に歩道用	考慮しない	5	30	・盛土なし ・上記によらない場合は、計算によって確認してください
2	MLウォール2種		主に車道用		10		
3	ライトMLウォール		歩道用フェンス取付用		10		
4	GSウォール	建築用	宅地造成用	水平震度Kh=0.20(参考)	10	25又は30以上	
5	宅造用MLウォールⅢ型			水平震度Kh=0.25(認定)			
6	宅造用MLウォールⅣ型			水平震度Kh=0.20(参考)		25	
7	ハイ・タッチウォール						

⚠ 注意事項

- **MLウォール**はコンクリート構造物です。間違った使い方や間違った施工方法により、倒壊や変状を起こす場合があります。正しい使い方と正しい施工方法でご使用ください。
- 水抜き孔周辺は正しく施工してください。排水機構が不完全な場合、背面の地下水圧によって倒壊する場合があります。
- **MLウォール**を設置する地盤の必要地耐力は、事前に確認してください。**MLウォール**の底版の前面側には大きな地盤反力が作用します。
- **MLウォール**の上に、更に建築ブロックなどによる嵩上げを行わないでください。構造検討をしていない2段擁壁は不安定となり倒壊することがあります。
- **MLウォール**は、サイズによっては製造していないものがあります。詳しくは、本社技術開発本部または生産本部にお問い合わせください。
- その他ご不明の場合は、弊社営業担当までお問い合わせください。

前田製管株式会社

URL: <http://www.maeta.co.jp/>

本社 : 〒998-8611 山形県酒田市上本町 6-7 TEL 0234-23-5111 FAX 0234-24-7002
 仙台開発営業部 : 〒980-0011 仙台市青葉区上杉 3-9-4 TEL 022-263-2620 FAX 022-214-8071
 東京開発営業部 : 〒135-0042 東京都江東区木場 5-11-17 TEL 03-5621-6473 FAX 03-5621-6455
 工場 : 北海道/十和田/青森/秋田/角館/水沢/雫石/山元/宮城/本社/天童/東根/米沢/郡山/宇都宮/栃木
 支店 : 北海道/青森/岩手/仙台/福島/秋田/山形/酒田/新潟/栃木/茨城/埼玉/千葉/東京